

# 高峰マウンテンロッジ

Takamine Mountain Lodge  
(長野県小諸市)



外観

アサマ 2000 は、日本で有数の高い標高を誇るスキー場だ。従って、非常に雪質が良いと言われている。このように書くと、パウダースキーが楽しめると思われるかもしれないが、そうではない。アサマ 2000 は風が強く、パウダースノーが吹き溜まるような場所ではない。バーンは極めて硬く、コブになりやすく、スピードが出る雪質だ。そのせいか、このスキー場は、レーサーや基礎スキーヤーがひたすら黙々と練習する場所として重宝されているようだ。

アサマ 2000 の近辺には、今回紹介する高峰マウンテンロッジの他に、高峰高原ホテル、高峰温泉などの宿泊施設がある。いずれも標高約 2,000m の高地にあるため、冬はアクセス道路「チェリーパークライン」が凍結する可能性があり、十分に注意が必要だ。特に、高峰高原ホテルがある車坂峠のアサマ 2000 側は、北側斜面になっているせいかツルンツルンのアイスバーンである。

高峰マウンテンロッジは、主にアサマ 2000 でスキーをする客向けのホテルである。本館と新館があり、それぞれに風呂がある。

まずは本館。温泉ではないが、スキーの疲れを癒すには十分である。洗い場が 6 か所、浴槽は定員 4 人程度である。欠点は、眺望がないことだろうか。

お勧めは新館の温泉「薬師の湯」だ。仕上げが白で統一されており、明るい雰囲気である。洗い場は 5 か所、浴槽は定員 5 人程度である。外を見やれば、ゲレンデや標高 2,202m の水ノ塔山山頂も見える。ただ、残念ながら日本百名山の浅間山は見えない。

本館、新館に共通であるが、洗い場にはシャンプー、リンス、ボディーソープが完備さ

れている。露天風呂、サウナはない。

ちなみに、高峰マウンテンロッジ新館の湯はアルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性低温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

今回取材班は、とあるスキー大会のためにこのホテルに宿泊した。スキー場と一体になったサービスに、参加者は皆一様に満足していたようだった。グレンデのレストラン「カフェテリア・ラクーン」も、高級ソーセージ 1 本入りでふわふわ卵のオムライスや、焼きたてのパン等があり、普通のグレ食とは 2 ランクは上のクオリティーである。アサマ 2000 には、雪質、ホスピタリティー、風呂と、スキーヤーを喜ばせるすべてがそろっていると見えよう。

- 名称：高峰マウンテンロッジ
- 所在地：長野県小諸市高峰高原
- 電話：0267-23-1712
- 営業時間：16：00～8：00（要確認）
- 定休日：無休
- 通常入浴料：宿泊者のみ利用可能
- サウナ：なし
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材日：2013 年 3 月 2 日（土）、3 月 3 日（日）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部